

公益財団法人ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会 2021 年度 事業報告書 (2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

1 大会準備の概況

2021 年度は、コロナ禍の中、「2021 年 5 月」からの 1 年延期を前向きに捉え、これを大会成功に向けた意味のある期間にするという思いを持ち、「2022 年 5 月」の開催を目指し準備を進めてきたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による厳しい状況は、依然として収まる見通しは立たずにいた。

このため、「2022 年 5 月」に本大会を開催できる状況にあるか、参加型の生涯スポーツの国際大会の条件である「海外からある程度自由に参加(入国)できること」、「参加者が安心して競技・交流・ツーリズムを楽しめる環境が整っていること」をもとに、開催自治体や、共催団体、競技団体、協賛企業など関係者の方々と慎重に議論を重ねた結果、再度延期することが妥当であるとの判断に至った。

また、再延期後の会期については、関連競技大会等の開催計画や国内の状況を踏まえ、「ワールドマスターズゲームズ 2025」(台湾/台北市・新北市)以後とすることが適切であると考え、同大会後、なるべく早期の開催を目指す観点から、「2026 年 5 月」を会期とする方向で、IMGA との協議を行っているところである。

2 2021 年度の主な取組

(1) 長期延期に伴う準備の推進

大会の再延期が決定されるまでは、コロナ禍においても、競技運営、大会運営、交流・観光・宿泊・交通の各施策等において着実に準備を進めたが、決定以降は、長期延期に伴う事業の進捗調整や中断等を行い、2026 年 5 月開催への本格的な再始動の時期を 2024 年とし、これに向けた事業実施方法の再構築や事業費の再配分ができるように努めた。

(2) コロナ禍での広報活動の展開

大会の周知・PR、誘客活動等においては、昨年度に引き続き、コロナ禍での活動となった。

知名度向上では、マガジンハウス雑誌 Tarzan での本大会の特集、anna(アンナ：読売テレビのライフスタイルマガジン WEB サイト)でのゴトスポ(スポーツに参加する機運の盛り上がり)記事の掲載などメディアとのタイアップを実施した。

参加者獲得では、在外関係機関や海外の関係団体との連携や協力により SNS 等を通じて大会の魅力や情報を発信、国・地域ごとの人気スポーツや関心が高いコンテンツをデジタルメディアで発信した。また、大会参加の周遊を促進する取り組みとして各都道府県及び政令市の観光サイトや PR 動画をオンラインエキスポ「旅の展示会」に集約し、大会ホームページに掲載、全国への周遊喚起を行うためのオンラインツアーを大会公式 YouTube に公開し、本大会を通じた全国魅力発信事業を推進した。

(3) エントリー者への参加料金の返金

2021 年 10 月の大会の再延期方針を受け、大会ホームページやエントリーシステムによる発信等で、エントリーをいただいている皆様に、参加料金の返金対応の方針を継続的にお知らせし、12 月 16 日には、12 月 1 日時点でエントリーをいただいている皆様に、参加料金を全額返金することを公表した。また、2022 年 1 月に順次、対象となる皆様に対し、大会参加料金の返金にかかる具体的なご案内を配信し、1 月 20 日から返金対応を開始した。

なお、この間、速やかな返金を行うため、平行して返金プログラムを構築・運用を行った。

3 2026 年度に向けて

まずは、再延期後の会期について、早々に決定できるよう、IMGA と鋭意協議を行う。

また、長期延期にむけて、効果的・効率的に大会準備を進めるため、事務局組織については、一旦、2022 年度・2023 年度の規模縮小を経て、2024 年度に規模拡充を予定している。大会準備の事業については、2022・2023 年度は、関西広域連合、経済界とも協力し、大会の知名度向上と機運醸成に向けた取組を中心に展開したうえで、本格的な再始動となる 2024 年度には、第 3 次総合実施計画を策定し、事業実施方法の再構築や事業費の再配分を予定している。

今後も、IMGA はもとよりスポーツ庁はじめ関係省庁、日本スポーツ協会、日本パラスポーツ協会、中央競技団体などの関係団体との密な連携、連携協定締結団体、協賛企業、応援大使等の本大会への協力・支援をいただきながら、大会成功に向け一致団結し着実に準備を進めていく。

【事業費】

1 競技運営

(1) 関係団体との連絡調整

延期に伴う競技会の諸調整にあたり、関係省庁、日本スポーツ協会、日本パラスポーツ協会、中央競技団体及び各府県政令市実行委員会等との協議・調整を実施

また、再延期に伴うスポーツ関係団体を通じた機運醸成にかかる取組検討のため、上記各関係団体との協議・調整を実施

(2) 競技大会の運営に関する調査

WMGテストイベント（オリエンテーリング・飛込）および日本スポーツマスターズ大会記念事業ダンススポーツ競技大会の調査視察を実施

(3) 中央競技団体等との調整会議の開催

○ 実施日及び出席団体数

- ・ 第1回 2021年10月11日(月) 44団体(障がい者スポーツ中央競技8団体を含む) : Web会議
- ・ 第2回 2022年2月10日(木) 42団体(障がい者スポーツ中央競技8団体を含む) : Web会議

○ 内容

- ・ 第1回 ① 「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」開催方針(案)について
- ・ 第2回 ① IMG Aとの協議状況について
② 今後の組織体制について
③ 再延期に伴う大会開催方針案について
④ 再延期に伴う各競技会の取り扱いについて
⑤ スポーツ関係団体を通じた知名度向上・機運醸成について
⑥ 中央競技団体を通じた機運醸成事業にかかるアンケートについて
⑦ 2022年度、2023年度の機運醸成に向けた取組について

(4) 開催標準経費(追加競技分含む)

2016年9月、各競技の当時の競技日数・会場数等により、交付基準に基づく交付額を算定し、全体額を2020～2022年度の実行委員会交付申請額に分け、2021年度分の交付申請があった実行委員会に対し、経費を交付

また、再延期に伴う対応として、当面執行予定のない未執行額を組織委員会にて預かることを目的とした返還手続きを実施

(5) 競技の充実に要する経費

① 再延期に伴う対応として、「競技会の開催に必要な不可欠な特別な経費」の執行分を実績報告に基づき交付

② 射撃競技に係る参加者向けマニュアル作成、手続き業務実施計画とマニュアル作成業務

○ ワールドマスターズゲームズ2021 関西射撃競技参加者の入出国及び銃砲取扱い手続き業務

- ・ 受託者 東武トップツアーズ(株)
- ・ 契約期間 2020年12月1日から2022年1月31日

(6) 競技運営にかかる大会開催支援アドバイザー

日本スポーツ協会での国体競技運営を始めとした様々な知見とネットワークを持った、川口三三夫氏に2018年度からアドバイザーに就任いただいております。再延期に伴う競技運営関係の課題や知名度向上・機運醸成におけるNFへの対応等に関する助言を基に、競技団体等との更なる連携による競技会準備を実施

2 大会運営

(1) 大会エントリーシステムの構築及び運営補助業務

大会参加規約(大会参加資格、参加者区分、参加申込受付期間、参加料金、キャンセルポリシー、遵守事項等)の延期に伴う各種更新、エントリーシステムの大会参加申込受付業務の運営(アーリーエントリー2020年1月～、本エントリー同年2月～、延期に伴うシステム更新のための停止2021年3月～5月)、大会期間中の大会受付システムの構築

大会再延期に伴うシステム終了措置(2022年3月25日)及びエントリーシステム端末等各種機器回収作業の実施、委託契約の年度未完了とする変更契約の締結

○ エントリーシステム構築及び保守運営業務委託

- ・受託者 富士通リース㈱
- ・契約期間 2017年10月16日から2022年3月31日まで

【参考：エントリーの状況】 (2021年12月31日時点)

区 分	人 数
国 内	14,737 人
海 外	2,231 人
合 計	16,968 人

(2) 返金プログラムの構築と運用サポート業務

大会延期に伴うエントリー者への参加料の返金のため、エントリー者の口座情報の収集及び金融機関に提出する支払データの作成を目的として、返金プログラムの構築・運用を実施

○ 返金プログラムの構築と運用サポート業務

- ・受託者 ジョルダン株式会社
- ・契約期間 2021年12月1日から2022年3月31日まで

(3) 大会案内業務(大会ヘルプデスク・コールセンター含む)

大会参加者の満足度向上を図るため、大会ヘルプデスク(メール問い合わせ)、コールセンター(電話問い合わせ)の運営、大会期間中の各会場での大会案内業務及びゲートウェイ案内所設置運営業務実施に向けた準備検討を行っていた。再延期の決定後、返金対応に関する問い合わせ対応を実施

○ ワールドマスターズゲームズ2021 関西案内業務委託

- ・受託者 ㈱コングレ
- ・契約期間 2021年4月1日から2022年3月31日まで

(4) 大会総合本部、各ビレッジの運営

大会総合本部は、大会期間中における、各府県政令市実行委員会本部やビレッジから収集する運営結果情報、リスクヘッジやネガティブ事案等が発生した場合の情報の一元管理、大会の魅力向上させるための情報の発信。その本部運営のための計画策定を行うとともに、各種機能(大会受付、案内、交流の場等)の配置検討を実施

○ ワールドマスターズゲームズ2021 関西大会運営業務(大会総合本部・各ビレッジ運営・大会受付)業務委託

- ・受託者 ㈱電通 関西支社
- ・契約期間 2021年4月1日から2021年12月28日まで

(5) 大学連携事業

○ インターカレッジ・コンペティション2021の開催

産・学・官連携により、「再延期されたWMG2021 関西の開催に向けて、より充実した環境で大会を迎えるためにスポーツ振興や地域振興のために大学が関西全体、または関西の各地域と協力して取り組むべき施策」をテーマに、ゼミ単位のプレゼンテーションによるコンペティションを実施

- ・開催日 2022年1月11日(火)
- ・内 容
 - ・プレゼンコンペ形式で予選・決勝を実施
 - ・最優秀賞(スポーツ庁長官賞)
 - ～近畿大学「スポーツ格差“ゼロ”社会を関西から」～
(提案内容)
 - ・子どもの経済格差で起こる問題を「食事」「学習」「運動」と捉え、その一つであるスポーツ環境の充実をサポートする取り組みを通じ、格差解消や地域活性化、スポーツに触れる機会の創出等を目指す。

(6) 広報・報道セクション

大会期間中に質の高い報道を数多く獲得するために、報道関係者に向けて円滑かつ迅速に大会情報の発信ができるよう必要な準備・計画・運営を行うための検討

2021年度は、本大会の報道対応に関わるスタッフ全員の共通理解を図り、広報報道セクション業務を円滑に進めるため、各府県政令市実行委員会、開催市町と協議し、広報報道対応マニュアルを策定

○ワールドマスターズゲームズ2021 関西 広報報道セクション業務委託

- ・受託者 ㈱電通 関西支社
- ・契約期間 2021年7月1日から2021年12月31日まで

(7) 参加者キット等

大会参加者向けのガイドブック作成業務を委託するため、プレゼンテーション審査を行い、業者選定を実施。受託業者との間で、ガイドブックの構成やデザインを検討。競技関連の情報、観光交流、式典等の情報の収集。

再延期に伴いその時点までに完了した業務へ仕様を変更し、令和3年12月28日までとする変更契約を締結

なお、大会参加者向けのTシャツやリュックなどのキット等は再延期に伴い、発注、作成業務は大会会期決定後改めて実施予定

○ ワールドマスターズゲームズ2021 関西参加者向けガイドブック作成業務

- ・受託者 ㈱コンベンションリンケージ
- ・委託期間 2020年9月28日から2021年12月28日まで

(8) 関係団体との連絡調整

関係省庁、日本スポーツ協会、日本パラスポーツ協会をはじめとする関係団体等に対し、再延期後の大会開催方針にかかる連絡要請や協力支援依頼を実施したほか、再延期にかかる、各関係団体との連携協定期間を延長

3 開閉会式及び交流施策

(1) 開閉会式等準備

① 開閉会式

再延期決定前における開閉会式の実施にかかる打合わせを実施

② VIP対応

再延期決定時点までのVIP対応計画の作成とそれにかかる打合わせを実施

(2) 交流事業関係準備

① 交流事業運営準備

再延期決定時点までの交流事業の実施にかかる打合わせを実施

○ 交流事業実施計画の作成（改訂）

- ・オープニングビレッジEXPO及び閉会式前イベントの内容検討
- ・受託者 ㈱電通 関西支社
- ・契約期間 2021年4月1日から2021年12月28日まで

○ 動画配信サイト「WMG.ステーション」のシステム開発

- ・受託者 株式会社電通 関西支社
- ・契約期間 2021年4月1日から2022年1月31日まで

○ 多言語同時翻訳機能を活用したアプリの構築

- ・受託者 Kotozna株式会社
- ・契約期間 2021年4月1日から2021年6月30日まで

② フラワーリレー映像撮影及び花材調達

再延期確定前における、京都府、堺市の撮影を実施。

- ・セレモニー運営及び撮影業務
受託者 サクラインターナショナル株式会社
契約期間 2021年4月1日から2021年11月30日まで
- ・花材調達業務
受託者 株式会社花宇宙
契約期間 2021年4月1日から2021年10月29日まで

4 ボランティア運営

(1) ボランティア運営・研修業務

各府県政令市実行委員会の担当会場を含めた全ての会場におけるボランティアの活動内容、人数などの配置計画案の作成、また、ボランティア募集要項の修訂、団体ボランティア等募集開始、ボランティアデスク運用、ボランティア研修等実施に向けた準備検討、オンライン研修教材の制作を進めていたが、再延期に伴い契約期間を令和4年2月28日とする変更契約を締結

- ワールドマスタースゲームズ2021 関西ボランティア運営業務委託
 - ・受託者 ㈱電通 関西支社
 - ・契約期間 2018年12月19日から2022年2月28日まで

(2) 募集広報・関係団体との連携

募集広報物として、パンフレット20,000枚、ポスター1,900枚を作成し、各府県政令市実行委員会や関係各所に配付・掲示するとともに、各地のスポーツ大会、ボランティア説明会での募集案内やボランティア募集サイトへの掲載等を実施、延期に伴うポスター等の修正用テープの作成と各印刷物の修正

また、連携団体への働き掛けを実施

- ・オリパラボランティアマイページでのPR
- ・JICA関西メールマガジン掲載依頼、海外協力隊家族連絡会でのPR
- ・全国外大連合との語学ボランティア募集に向けた協議
- ・日本パラスポーツ協会への協力依頼
- ・全国体育大学連合への協力依頼
- ・大学スポーツコンソーシアムKANSAI(KCAA)への協力依頼 など

【参考：ボランティア募集状況】

申込受付人数(延べ人数ベース：2021年12月末現在)

必要見込総人数(※)	申込受付人数
60,025人	17,666人(うちエントリーシステム受付8,415人)

5 安全対策・危機管理

(1) 危機管理対策

全ての会場(開閉会式会場、各ビレッジ会場、各競技会場等)において想定されるリスクを洗い出し、分析・整理し、各会場における安全対策マニュアル、リスクブックの取りまとめ、会場内や医療機関での外国語対応方策検討、新型コロナウイルス対策指針の更新検討を実施

- リスクマネジメントアドバイザー業務委託
 - ・受託者 マーシュジャパン㈱・SOMPO リスクマネジメント㈱共同企業体
 - ・契約期間 2018年12月7日から2022年3月15日まで

(2) 大会保険等

大会運営準備に係るリスクに備えて一般賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバーリスク保険へ組織委員会として加入(一部、IMG Aや各府県政令市実行委員会等もカバー)し、今後加入すべきと想定される大会中止保険、傷害保険(競技出場者、競技関係者、海外VIPを対象)、ボランティア保険への加入について検討

(3) 危機管理にかかる大会開催支援アドバイザー

安心安全な大会の開催に向けて、外部の有識者に大会開催支援アドバイザーに就任いただき、リスクマネジメント、サイバーセキュリティ、外国人向けの医療救護体制の構築等専門的知見から助言を受けた

- 大会開催支援アドバイザー
 - ・久保 英也氏(組織委員会参与、日本リスク学会 前会長)
 - ・猪俣 敦夫氏(大阪大学情報セキュリティ本部情報セキュリティ学科教授)
 - ・南谷かおり氏(りんくう総合医療センター健康管理センター長兼国際診療科部長)
 - ・喜熨斗智也氏(国士舘大学体育学部スポーツ医科学科准教授)

(4) システム障害・サイバー事故対応・個人情報保護

事務局内のさらなるセキュリティ強化を図り、2020年度に引き続き、事務局内組織であるシーサート（サイバー事故発生時・個人情報漏えい事故発生時の対応組織）の運用強化、24時間365日体制でのネットワーク監視やPC操作ログを収集するシステムを運用するとともに、不正アクセスやウィルス感染があった際の原因究明や初動対応体制を構築した。また、個人情報保護法改正（2021年10月、2022年4月）対応として、関係規程およびプライバシーポリシーの改訂を実施

6 観光施策

(1) 観光事業の基盤となる仕組みづくり

① 大会専用観光サイトの構築

大会参加者等が、どの地域を訪れても、その地域の魅力に触れることができるよう、開催地の体験プログラムを一元的にとりまとめ、検索・予約・決済までワンストップで対応できるサイトを構築。2020年10月末に一時閉鎖していたサイトを2021年5月に再開したが、再延期に伴い、2021年11月に一時閉鎖

サイトに掲載するWMG2021関西特別体験プランについては、開催地毎に3件の体験プログラムを造成することとしており、2021年12月31日時点で112件の体験プログラムを造成
競技開催日程に合わせた設定日の確認や日本人をメインターゲットにした場合の価格設定、付帯サービス等の再検討を実施

② 再延期に伴う対応

開催市町における機運醸成の維持と大会の知名度向上のため、これまでに造成したプログラムを経費のかからないよう外部サイトに特集ページを設置することとし、4月以降も大会ホームページから閲覧・購入できる仕組みを構築

7 宿泊施策

(1) 公式宿泊予約サイトの構築・運用

2021年5月に宿泊予約サイトを再開し、パートナーホテル等の宿泊予約や参加競技や観光地から検索が可能な宿泊施設比較サイト（トラベルコ）と連携した運用を開始。2021年10月に大会再延期が決定したため、11月末で宿泊予約サイトを閉鎖

(2) WMG宿泊センターによる宿泊施設関係団体等との調整

参加エントリー受付状況に応じて、パートナーホテルの過不足調整を実施。また、メジャーパートナー系列のホテル掲載に向け、関係者と協議のうえ、掲載内容の調整や客室仕入れを実施。大会再延期決定後は、パートナーホテルのキャンセル対応や確保した宿泊施設の返室対応を実施

8 交通施策

(1) 参加者がストレスなく移動（競技参加）できる交通体制の整備

① 広域シャトルバス

バスの調達、運行ルート及び運行スケジュール及び運営マニュアルを改訂した。大会の再延期に伴い、調達したバスの返却等の対応を実施

② 域内シャトルバスの調整

開催エリアにて利用されるシャトルバスの意見集約及び調達を行い、また大会の再延期に伴い、調達したバスの返却等の対応を実施

(2) 交通インフォメーションの修正

会場の変更等に伴う修正について、随時対応

(3) 再延期に伴う交通パスの保管

交通パス（オリジナル KANSAI ONE PASS 3万枚）の保管方法を検討した結果、JR西日本に無償保管してもらえることで合意
製作済のパスの担保として製作費の一部を支払

9 大会の機運醸成

(1) 広報媒体制作(ポスター、チラシ)

大会の1年前のエントリー再始動に合わせてPRチラシとポスターを作成し、競技団体や行政組織等が実施するイベントや各種競技大会において、配付するとともに、各団体が所有する施設等での配架及び掲出を実施

大会再延期が決定後、修正シールを作成・添付をし、継続して配架及び掲出を行った。

○ PRチラシ配付数

・日本語チラシ	74,894部		
・外国語チラシ(4言語)			
英語	14,304部	中国語(繁体)	1,027部
中国語(簡体)	243部	韓国語	446部

○ ポスター掲出数

・国内用	5,235枚		
・海外用			
欧米向け	37枚	アジア向け	23枚

(2) 広報グッズ(ノベルティ)制作

- ・大会の延期に伴い、のぼりを再作成し、グッズにかかる訂正シールやスフラピンバッジの台紙を作成・差し替えるなど、既存物の有効活用を実施

(3) 各種イベント等でのPR出展

- ・大会の知名度向上及び機運醸成のため、各競技団体、各府県政令市実行委員会、協賛企業等と協同し、全国各地のスポーツイベント会場において大会PRブースを出展
一部のイベントについては、新型コロナウイルスの感染拡大による無観客開催への変更等に伴い、ブース出展が困難になったため、出展の代わりとしてイベント会場等において主催者から参加者及び関係者へチラシやグッズを配布
- ・大会マスコット着ぐるみも有効活用しながら、大会エントリー数の底上げを図るとともに、スポーツの楽しさ、健康増進の大切さを発信し、大会出場者や競技者層だけでなく、未経験者を含めた地域全体の生涯スポーツへの関心を高め、PRサポーターやボランティア等大会への幅広い参加につなげられるよう取組を実施

<PR等実績>

- ・第45回全大阪早朝軟式野球リーグ戦(大阪府)
- ・アジアトライアスロン選手権・アジアトライアスロンパラ選手権(広島県)
- ・2021カヌースプリントジュニア・U23・シニア海外派遣選手最終選考会(石川県)
- ・2021カヌースラロームジャパンカップ 第1戦
2021年度カヌースラローム日本代表選手選考会(シニア) 第1戦(富山県)
- ・全日本ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会 2021<ビーチ(ライフセービング)>(神奈川県)
- ・第88回兵庫県ダンススポーツ選手権大会<西部ブロックランキング戦>(兵庫県)
- ・ベイサイドカップ争奪 横浜市ダンススポーツ大会(神奈川県)
- ・SPORTEC2021(愛知県)
- ・第43回WSF湘南選手権<国体ウインドサーフィン級神奈川県代表選考>(神奈川県)
- ・第54回全日本シニアボウリング選手権大会(愛知県)
- ・第60回JDSF公認滋賀県ダンススポーツ競技大会兼「ねんりんピック2021」滋賀県代表選考会(滋賀県)
- ・第105回日本陸上競技選手権大会(大阪府)
- ・第31回日本シニアオープンゴルフ選手権 地区予選ブロック(石川県・埼玉県・栃木県・兵庫県)
- ・第31回日本シニアオープンゴルフ選手権 最終予選(千葉県)
- ・東京オリンピック2020(東京都)
- ・男子66回・女子65回 全日本実業団選手権大会<ソフトテニス>(栃木県)
- ・愛知県ダンススポーツ競技会名古屋大会(愛知県)
- ・キッズスポーツスタジアム(大阪府)
- ・東京都ダンススポーツ大会(東京都)
- ・大阪市長杯 第28回市民ゲートボール大会(大阪府)
- ・イベントツールウエストジャパン2021(大阪府)
- ・兵庫県立障害者スポーツ交流館 WMG PR イベント<卓球・アーチェリー>(兵庫県)
- ・第29回ワン・ワールド・フェスティバル オンラインウィーク(オンライン開催)
※ 各競技会場にポスター掲出、パンフレット配架も実施
※ 上記のうち、チラシ・ノベルティ配付、ポスター掲出のみ実施したイベントもあり

(4) 節目イベント・WMG2021 魅力発信イベントの開催

大会1年前に大会の知名度向上・機運醸成、参加者獲得や大会の魅力を発信するため体験型イベントの開催を計画していたが、コロナ感染拡大防止の観点から中止し、他の大会の節目(200日前・100日前)での開催を検討したが、コロナ感染症防止の観点・大会会期の再延期に伴い開催を断念

(5) 大会プロパティ活用促進

① ライセンス事務局の運営

大会ロゴマークや各種スフラピクト等の大会プロパティの管理・運用を実施
また、2021年6月末で委託業者との運営契約を解除し、組織委員会にて運営を開始

② オフィシャルグッズの販売

オンラインショップを2020年4月に開設、大会ホームページにバナーを設置し販売を行っていたが、2021年6月末で委託業者との契約を解除し、ミズノホームページから購入できるよう変更を実施

(6) 全国への情報発信

大会1年前節目イベントにあわせ、全国への情報発信を計画していたが、イベントの中止に伴い、情報発信も取りやめ

(7) ホームページ等情報発信事業

参加者への適切な情報発信や機運醸成を目的とし、ホームページ、SNSを活用した大会情報や各府県政令市実行委員会が主催するWMG関連イベント等の周知

① トップページの改修

大会参加者や大会関係者が求める情報に、円滑にアクセスできるように、ホームページのトップデザインを改修

- ・ ページ上部にトピック(画像)を表示し、適切な時期に合わせた魅力ある情報を発信
- ・ 興味を持った閲覧者がすぐにエントリーできるように、画面下にエントリーページへのバナーを常時表示
- ・ SNSの特定ハッシュタグの投稿を表示し、エントリー済み参加者のモチベーション維持や、未エントリー者に対して参加意欲を訴求(口コミ効果)

② 関西のスポーツツーリズムを発信するwebマガジン「ゴトスポ」の展開

開催市町の地域の魅力を発信し、全国・世界からやってくる人たちに関西のスポーツ文化・熱量を知っていただき、興味を持っていただくことを目的としたwebマガジン。

「ゴトスポ」に掲載する記事は、公募で選ばれた、WMG開催府県市在住の広報ボランティアが取材・記事作成。日/英で展開

(8) ポータルサイトの運用

ポータルサイト「Team Do Sports Portal(TDSP)」では、すべてのスポーツ愛好者の交流の場としてのプラットフォームとして運営していたが、2022年3月15日をもって閉鎖

(9) 大会アンバサダーの運用

大会応援大使として協力いただいている武井 壮氏を含む53名の元アスリートや著名人に、大会公式ホームページにてプロフィール、コメント等を掲載し、大会知名度向上の推進、大会参加者の確保にも寄与していただいたが、長期延期になるため、武井応援大使を除く大会アンバサダーは、2022年3月末で任期終了

(10) 広報戦略にかかる大会開催支援アドバイザー

効果的な広報戦略活動を実施するため、広報分野における外部の有識者5名に大会開催支援アドバイザーに就任いただき、WEBマガジン「ゴトスポ」の運営、メディアリレーション、ホームページアクセシビリティ等に関する助言や支援をいただいた

- 広報戦略アドバイザー
 - ・湯川 カナ 氏（兵庫県広報アドバイザー・一般社団法人リベルタ学舎代表）
 - ・有田 佳浩 氏（兵庫県広報プロデューサー・コペルニクスデザイン代表）
 - ・小林 知亜季 氏（一般社団法人リベルタ学舎編集部門）
 - ・嶋田 あや 氏（兵庫県デザインディレクター・コペルニクスデザインデザイナー）
 - ・大橋 秀平 氏（神戸市最高デジタル責任者補佐官）
 - ・板垣 宏明 氏（NPO 法人アイ・コラボレーション神戸 理事長）

(11)各種会議用バックボード作成

コアグラフィックを用いたデザインのバックボードを作成し、各種イベントや関西広域連合委員会など、大会関係者やメディアへの露出が期待できる場に掲出

(12)大会マスコット着ぐるみの活用

各種イベント等での活用

(13)表彰用メダルデザイン企画

表彰用メダルデザインの意匠登録を実施

(14)協賛セールス推進事業

関西経済界企業を中心に積極的にセールス活動を行うとともに、メディアパートナーについては、ソーシャルメディアに対応したプラットフォームや大会開催地域の地元メディア各社との協業体制の構築を図り協賛社の拡大を展開

また、各府県政令市実行委員会スポンサー獲得に対してのサポートも実施

- 第1期協賛（2014年4月1日～2017年12月31日） 計24社
 - ・メジャーパートナー 15社
 - ・パートナー 1社
 - ・サポーター 8社
- 第2期協賛（2018年1月～） 計61社(2022年3月31日現在)
 - ・メジャーパートナー 6社
 - ・パートナー 3社
 - ・サポーター 26社
 - ・メディアパートナー 26社

(15)レガシー創出委員会運営

再延期に係る大会開催方針を説明し、2026年の開催に向けた今後のレガシー委員会のあり方について意見交換を実施

10 知名度向上(広報PR等)

(1)メディアリレーション活動(在阪・首都圏メディア)

本大会の報道露出獲得のため、在阪メディアが加盟する関西プレスクラブや共同通信社きさらぎ会を通じたメディアとの関係構築や、大会の開催方針など重要な情報発信について、記者会見を開催することで報道露出の最大化を図った。また、メディアとのタイアップによる特集企画を実施

- 記者会見・記者レクの実施
 - ・2021年10月26日 ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催方針について
- メディアタイアップ実績
 - ・マガジンハウス雑誌 Tarzan での特集
WEBサイトでのエントリー再開の告知や、東京オリンピック・パラリンピック後に雑誌に特集（裏表紙、特集記事）を掲載
 - ・ハミングバード
女性×スポーツをターゲットとしたWEBメディア。WMG紹介記事を掲載
 - ・anna（読売テレビのライフスタイルマガジンWEBサイト）
関西の女性向けのWEBメディア。ゴトスポ記事を掲載
 - ・ダンスビュー（社交ダンスの雑誌・WEBサイト）
雑誌・WEBサイトにWMG紹介記事を掲載の他、日本ダンススポーツ協会の広報紙でもWMGのPR記事を掲載

- ・ MY HOCKEY. jp (ホッケーのWEB サイト)
WEB サイトにWMG 紹介記事を掲載
 - ・ みんなのスポーツ(全国スポーツ推進委員連合機関誌)での連載
参加者獲得 PT の一環として、WMG 特集記事を連載
- ※2021 年 10 月号から全 5 回の連載予定であったが、大会延期により 2 回掲載

(2) メディアパートナーPR等事業

メディアパートナーへの協賛契約に基づく広告出稿、デジタルメディアに広告等の出稿予定をしていたが、再延期となったため取りやめ

また、関西国際空港に壁面広告を掲載しているが、再延期となったため、壁面広告は取り外し、空港内のデジタルサイネージ等を活用するなど他の方法での実施を検討

- 実行委員会関係メディアでのPR
各府県政令市の媒体にてPRを実施

(3) 広報ツールの作成・改修

大会期間1年延期に伴い各種広告物やデジタルサイネージの改修を予定したが再延期となったため取りやめ

11 参加者獲得 ※国内・海外

(1) 広告掲出(大会プログラム等)

- ・ 競技大会等の大会プログラムへの広告掲出(国内) 4 件
- ・ 会報誌やガイドブックへの広告掲出(国内) 7 件
- ・ 主要駅など屋外各所への広告掲出 3 件
- ・ 海外向けのガイドブック等への広告掲出 1 件

(2) 海外類似大会でのPR・誘客事業

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、国際スポーツイベントの多くが中止や延期となった。また、世界的に出入国管理が厳しくなったため、開催された類似大会でのPRや誘客活動は職員の渡航を伴わない方法で実施

- ・ ハンツマンワールドシニアゲームズ(アメリカ、10月)
ノベルティグッズとチラシのセット 11,500部を現地に送付し、参加者キットへの封入を依頼。

(3) 重点国・地域へのPR・誘客事業

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大やそれに伴う世界各国の出入国禁止措置により、組織委員会としての渡航を伴うPR・誘客活動は中止したが、在外関係機関や海外の関係団体との連携や協力により、SNS等を通じた大会の魅力や情報を発信

- オーストラリア・ニュージーランド
 - ・ 全国自治体国際化協会(クレア)シドニー事務所による Facebook での大会情報の発信およびホームページへの掲載
- 韓国
 - ・ アジアパシフィックマスターズゲームズ(2023年6月/韓国)組織委員会との相互の広報協力を目的とした連携にむけた協議
- 中国
 - ・ 全国自治体国際化協会(クレア)北京事務所によるホームページでの大会情報の掲載・発信
 - ・ クレア北京事務所による国際的スポーツイベントのPR事業における大会情報の提供をはじめとした広報活動支援
 - ・ クレア北京事務所が参加を予定していた武漢ジャパンブランドをはじめとするイベントにおける広報活動支援
 - ・ 大阪市上海事務所のホームページ等における大会情報の発信依頼を目的とした情報提供
- 台湾
 - ・ 次回ワールドマスターズゲームズ開催都市決定に伴う連携に関する協議申入れ
 - ・ 台湾体育署主催イベント「Fun Sports in Taiwan」においてワールドマスターズゲームズ 2021 関西及び開催自治体のPRプレゼンテーションを実施(オンライン)
 - ・ 台湾のスポーツシーンにおいて最も影響力のあるSNSメディア「運動筆記」におけるワールドマスターズゲームズ 2021 関西の広報記事掲載

[その他]

- インド
 - ・インドマスターズゲームズ協会ならびにKHEL Oマスターズゲームズ連盟に対する大会情報の発信および団体エントリーに向けた協議実施
 - ・インドマスターズゲームズ協会会員への情報発信
 - ・インドマスターズゲームズ協会からの団体エントリーに係る申し込みの調整
- シンガポール
 - ・クレアシンガポール事務所によるSNSでの情報発信およびホームページへの掲載
- モンゴル
 - ・モンゴル陸上連盟からの団体エントリーに係る申し込みの調整
- ヨーロッパ
 - ・英国陸軍からの団体エントリーに係る申し込みの調整及び各実行委員会に対し参加枠確保の依頼

(4) 関係機関を活用した海外PR事業

- ・関西領事団事務局を通じ、関西内の在日海外公館等にWMG周知を依頼
- ・関西観光本部が発行するインバウンド向け関西観光ガイドブック及びKansai One Passガイドに広告出稿
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の際に、東京メディアセンターに共同ブースを出展

(5) デジタルメディアを活用した海外PR事業

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により人と接する機会を用いた誘客活動の実施が困難であるため、昨年度に引き続き、デジタルメディアを活用した非接触活動を実施。国・地域ごとの人気スポーツや関心が高いコンテンツの配信を通年で実施

<配信媒体>

- ・WMG2021 関西組織委員会公式Facebook、Instagram、YouTube(日本語・英語)
- ・IMGAのSNS、HP、月刊ニュースレター(英語)
- ・台湾「運動筆記」

<配信内容>

- ・ゴトスポ(英名: Sports Locally)コンテンツ紹介
- ・YouTube動画を含む、開催地・競技会場の詳細情報をSNSやHPで紹介。
※訪日したときのイメージをより具体的に想像できるようなもの。

(6) 旅行会社を活用した海外誘客委託事業

- ・世界各国にネットワークを持つ旅行会社を活用し、その営業活動等を通じた各競技や競技開催地の情報発信を実施

(7) 過去大会参加者等によるネットワークづくり

- ・大会の再延期に伴い、2021年度の意見交換会の実施は見送り
- ・WMG2021 関西のエントリー再始動といった重要な情報については、過去大会参加者向けメールマガジンを通じて共有

(8) 全国魅力発信事業

- ① オンラインエキスポ「旅の展示会」
大会参加の周遊を促進する取り組みとして各都道府県及び政令市の観光サイトやPR動画をオンラインエキスポに集約し、大会ホームページ上に掲載
- ② オンラインツアー
全国への周遊喚起を行うため実際の旅行行程に基づいてオンラインツアー形式で動画を作成し、大会公式YouTubeに公開
- ③ PRブース出展
オープニングEXPO会場において都道府県及び政令市のPRブースの出展を企画し、出展案内の送付や意向を集約したが、大会の再延期に伴い、事業を中断

(9) TSUNAGU 推進事業

大会の成功に向け、アスリートと連携した事業を開催府県域及び全国で展開することで、スポーツの持つ力や魅力について人々が再認識し、大会の機運醸成と地域のスポーツ文化の育成及びスポーツを通じた地域活性化等大会レガシーの創出を目指す計画であったが、新型コロナウイルスの感染拡大のためほとんど開催できなかった。

- 【中止】島根県隠岐の島町バレーボールクリニック
 - ・開催日（予定）2021年7月9日（金）
 - ・参加者（予定）100名
- 【中止】TUNAGU in 洲本
 - ・開催日（予定）2021年10月10日（日）
 - ・参加者（予定）300名
- 【中止】TUNAGU in 隠岐の島
 - ・開催日（予定）2021年11月
 - ・参加者（予定）300名
- 喜界町バレーボールクリニック
 - ・開催日 2021年12月22日（水）
 - ・参加者 約50名（小中学生及び指導者）
 - ・参加アスリート 柳本 晶一氏（アテネ・北京オリンピック全日本女子バレーボールチーム監督）
- 【中止】TUNAGU in 石垣
 - ・開催日（予定）2022年1月8日（土）・9日（日）
 - ・参加者（予定）300名
- 【中止】市尼フェスタ
 - ・開催日（予定）2022年1月29日（土）
 - ・参加者（予定）1,000名
- 【中止】TUNAGU in 奄美
 - ・開催日（予定）2022年2月27日（日）
 - ・参加者（予定）300名

12 組織委員会運営

(1) 組織委員会運営事業

① 幹事会

- 第52回
 - ・開催日 2021年4月23日（金）
 - ・議題
 - ・第2次総合実施計画について
 - ・オープン競技・テストイベントについて など
- 第53回
 - ・開催日 2021年5月25日（火）
 - ・議題
 - ・理事会の開催について
 - ・新たな協賛セールスについて
- 第54回
 - ・開催日 2021年6月30日（水）
 - ・議題
 - ・目標参加人数獲得PTに関する事項
 - ・地域活性化の取組の進捗報告 など
- 第55回
 - ・開催日 2021年8月10日（火）
 - ・議題
 - ・「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」における開催方針の検討について
 - ・200日前イベント・決起大会等について など
- 第56回
 - ・開催日 2021年9月17日（金）
 - ・議題
 - ・開催方針の検討状況の中間報告
 - ・目標参加人数獲得アクションプラン（参加者獲得PT） など

- 第57回
 - ・開催日 2021年11月25日(木)
 - ・議題 ・再延期に伴う「WMG2021 関西」の機運醸成の取り組みについて
・再延期に伴う新会期(案)について など
- 第58回
 - ・開催日 2021年12月23日(木)
 - ・議題 ・再延期に伴う新会期(案)について
・返金について など
- 第59回
 - ・開催日 2022年1月20日(木)
 - ・議題 ・常任委員会資料について(予定)
・返金対応について など
- 第60回
 - ・開催日 2022年2月24日(木)
 - ・議題 ・令和4年度開催府県政令市の負担金(人件費)の事務スケジュールについて
・WMG特別体験プランを活用した大会PRと機運醸成に向けた取組について など
- 第61回
 - ・開催日 2022年3月17日(木)
 - ・議題 ・3月下旬以降の組織委員会の取組について
・各幹事の2022年度以降の取組について など

② 連絡協議会

- 令和3年度第1回
 - ・開催日 2021年9月27日(月)
 - ・議題 「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」開催方針(案)について
- 令和3年度第2回
 - ・開催日 2021年10月21日(木)
 - ・議題 「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」開催方針及び今後の対応について

(2) 常任委員会開催事業

- 第11回常任委員会
 - ・開催日 2021年10月4日(月)
 - ・出席委員 49名
 - ・議題 ・「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」開催方針(案)について
- 第12回常任委員会
 - ・開催日 2022年1月27日(木)
 - ・出席委員 47名
 - ・議題 ・IMGAとの協議状況について
・今後の組織体制について
・再延期に伴う大会開催方針案
・2022年度事業計画・予算案

13 IMG A連絡調整

- IMG A総会(Web開催)
 - IMG A総会の場で大会の再延期決定について承認を得た。
 - ・開催日 2021年11月15日(月)
 - ・内容 大会の再延期について

【管理費】

14 事務局運営

(1) 事務局運営事業

業務の集約化のため、組織内の人員配置を見直し、公益法人として適切な会計事務を執行

(2) 理事会等開催事業

① 理事会

○ 第1回(書面決議)

- ・決議があったものとみなす日 2021年5月14日(金)
- ・決議があったものとみなす事項 ・評議員会の開催について

○ 第2回

- ・日 時 2021年5月28日(金)
- ・場 所 NCB会館
- ・決議事項 ・2020年度事業報告および収支決算(案)について
 - ・評議員会の開催について
 - ・第2次総合実施計画について
 - ・参加者獲得の取組について

○ 第3回(書面決議)

- ・決議があったものとみなす日 2021年9月3日(金)
- ・決議があったものとみなす事項 ・評議員会の開催について

○ 第4回

- ・日 時 2021年10月26日(火)
- ・場 所 NCB会館
- ・決議事項 ・「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催方針及び今後の対応について

○ 第5回(書面決議)

- ・決議があったものとみなす日 2022年1月14日(金)
- ・決議があったものとみなす事項 ・評議員会の開催について

○ 第6回

- ・日 時 2022年2月2日(水)
- ・場 所 NCB会館
- ・決議事項 ・再延期に伴う大会開催方針案
 - ・2022年度事業計画・予算案
 - ・オープン競技について

② 評議員会

○ 第1回(書面決議)

- ・決議があったものとみなす日 2021年4月15日(木)
- ・決議があったものとみなす事項 ・組織委員会の評議員選任(案)について
 - ・組織委員会の監事選任(案)について

○ 第2回(書面決議)

- ・決議があったものとみなす日 2021年5月21日(金)
- ・決議があったものとみなす事項 ・組織委員会の理事選任(案)について

○ 第3回

- ・日 時 2021年6月25日(金)
- ・場 所 NCB会館
- ・決議事項 ・2020年度事業報告及び収支決算について
 - ・組織委員会の評議員選任(案)について

- 第4回(書面決議)
 - ・決議があったものとみなす日 2021年9月30日(木)
 - ・決議があったものとみなす事項
 - ・組織委員会の評議員選任(案)について
 - ・組織委員会の理事選任(案)について

- 第5回(書面決議)
 - ・決議があったものとみなす日 2022年2月1日(火)
 - ・決議があったものとみなす事項
 - ・組織委員会の理事選任(案)について

附記

事業における重要な事項は、以上の2021年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特に無いため、当該年度の附属明細書は作成しない。